

兵庫県林学職

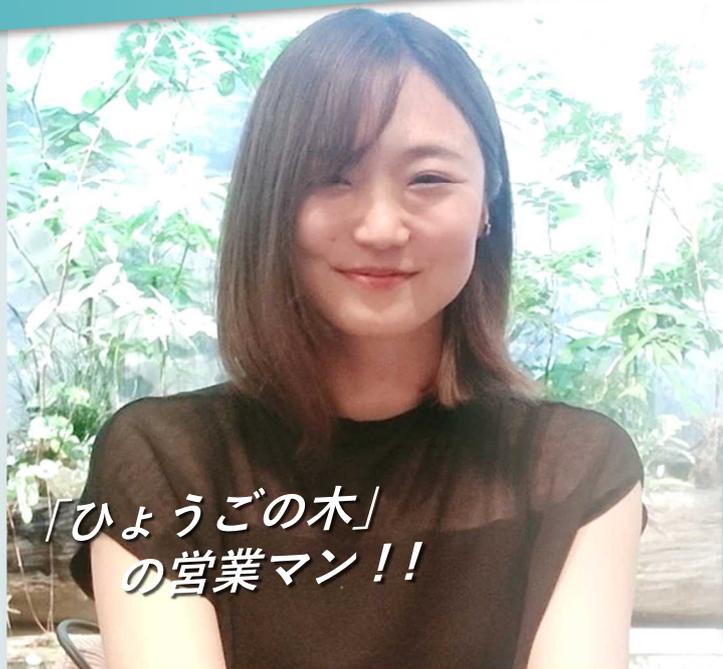
職員採用案内



兵庫県
Hyogo Prefectural Government

兵庫県的林学職ってどんな仕事？

先輩職員にインタビュー！



「ひょうごの木」
の営業マン！！

農林水産部 林務課 木材利用班

入庁12年目 主任

●主な経歴

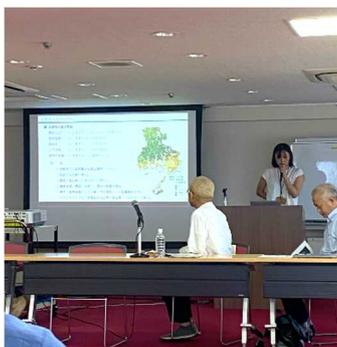
- 2013年度 姫路農林水産振興事務所 森林林業課 入庁
- 2016年度 朝来農林振興事務所 森林第1課
- 2019年度 公益社団法人兵庫みどり公社（出向）
- 2021年度 農林水産部 林務課 木材利用班

◆今までどんな業務に携わってきましたか？

林業事業者への補助金等による支援、治山工事の設計・発注、森林整備を行う外郭団体への出向、県産木材の利用促進に関する政策立案など、幅広く担当してきました。必要な知識は業務によって違いますが、根幹は森林につながるもので、やりがいを持って取り組むことができています。

◆仕事での印象的なエピソードを教えてください！

ひょうごの木に“新しい価値” を見出す、熱意の挑戦



民間企業に兵庫県の森林の現状を説明

企業と連携して「ひょうごの木」をブランディングする新規事業を立案した時のことです。

林務課には、県産木材をPRする班があり、着任時には上司から「**県産木材の“営業マン”だと思って仕事をしなさい**」とアドバイスをもらいました。この言葉を胸に、現場の声を収集するため工務店や製材所等に聞き取りをし、民間企業に県産木製品の導入を働きかけました。

現場へ出向いて現状が見えてくると、県産木材を使用した住宅や施設の設計・建築費用を補助することも重要ですが、県民や民間企業に県産木材を知ってもらうことも大事ではと考えるようになりました。

そこで関係部署と協議し、酒造会社や芸術家、イベント会社など多様な分野の方と「ひょうごの木」をマッチングすることで“新しい価値”を発見し、PR企画を考えていくというプラットフォーム事業を立ち上げました。

企業の方に「面白そうな事業なので参加してみたい」と言ってもらえた時は、本当に嬉しかったです。様々な分野の熱意のある人と関わり、「ひょうごの木」について議論できる場を作れたのは、自分の人生でとても有意義な経験です。

◆なぜ兵庫県を選びましたか？

私の出身地である大阪府は森林面積が小さく、木材生産量が低いです。学生の頃は日本の林業を変える仕組みを作りたいと夢見ていたので（もちろん今も！）、出身地からも近くて林業が盛んな兵庫県（関西圏では木材生産量1位）に就職しました。

◆林学職の好きなところは？

大好きな“森林”という分野で世の中のために働けるところです！

また、林学職は自然を好きな人が多いので、趣味の合う人が多く、休日にも一緒に遊んだりすることもあり、和気あいあいとした雰囲気もけっこう好きです。

休日に若手職員で集まって自主勉強会やイベントを開催することも！



兵庫県では、様々な年代の熱意ある林学職員が働いています！

そんな先輩職員にどんな業務に携わってきたのか、エピソードなどインタビューしました。

農林水産部 治山課 治山班

入庁32年目 班長

●主な経歴

1993年度 洲本農林水産事務所 治山課 入庁
2013年度途中 京都府に災害派遣
2014年度途中 丹波農林振興事務所 復興事業課
2024年度 農林水産部 治山課 治山班



常に現場の最前線！

◆今までどんな業務に携わってきましたか？

入庁して2年目の冬、阪神大震災が起きました。当時の配属先の淡路島でも山地災害が多く発生し、災害復旧に携わったのを皮切りに、多くの災害復旧の現場を経験しました。これまで治山・林道・林地開発業務等を担当し、ほぼ森林土木一筋で仕事をしてきました。

◆仕事での印象的なエピソードを教えてください！

地域の「ありがとう」に支えられる、災害対応の使命感

阪神淡路大震災の時のことです。地震による山地災害が多く発生し、復旧に向けて他府県や県内事務所から多くの技術職員が応援派遣されました。

初動調査で現場に入った際、派遣された先輩職員が被災現場を見ながら、手持ちの住宅地図などにさらさらと被災状況と復旧計画のイメージをスケッチをしていました。それが、そのまま災害復旧に必要な予算を要求する際の資料になり、工事中まで大きくコンセプトが変わらなかった事に感心しました。数々の経験で培われて来た現場力、そして概ね正しい迅速な判断力。このような事が出来る職員になりたいとこの時思いました。

年月は経ち、現在私は本庁に勤務しています。県内で山地災害が発生した際は、いち早く現場を歩いた事務所の職員から本庁に報告が届き情報が共有されます。事務所から本庁へ迅速に被災状況の報告や復旧計画の提案がなされる光景を見て、現場の最前線で奮闘する林学職員の仲間を誇りに思いました。林学職員に根付いている「現場情報をいち早く取得し、次につなぐ迅速な判断を下す」理念は今でも変わらないと思っていますし、私自身もその信念を胸に日々取り組んできました。

治山事業では、現場の地元調整、調査・測量、設計、補償契約、工事監督までをトータルコーディネートするため、自ずと仕事に対する責任感が生まれ、地元の方々との信頼関係も築けます。災害復旧工事などで「ありがとう」と声をかけられた時は、心が揺さぶられます。県民が困っているときにその復興の一端を担うことができるのは、県職員冥利に尽きます。



復旧工事の計画を地域住民に説明

◆これから入庁する人へメッセージをお願いします。

林学職は森林を扱う仕事なので、長い年月を見据えた地味な部分も多いですが、その内容は多岐に渡っており色々な事ができます。環境問題や人命にもかかわる大事な仕事なので、是非仲間になって、共に兵庫県の森林をより良くしていきましょう！



県内各地の小学校で防災教室なども開催しています。防災においてはハード対策のみならず、ソフト対策として山地災害についてわかりやすく説明し、県民の防災意識を高めることも重要な仕事です。





現場で磨いた
技術力を活かす！

但馬県民局 朝来農林振興事務所 森林第1課 入庁32年目 所長補佐兼課長

●主な経歴

- 1993年度 社農林事務所 治山課
- 2011年度 姫路農林水産振興事務所 森林林業課
- 2019年度 兵庫県立森林大学校
- 2023年度 朝来農林振興事務所 森林第1課

◆仕事での印象的なエピソードを教えてください！

災害時こそ思いを一つに 地域全体で連携する

私が県民緑税事業を担当していた時のことです。平成23年9月の台風12号による大雨で、管内では山地災害が多数発生しました。森林からの枝葉の流出により水路が閉塞した箇所や、森林の防災機能を強化する工事が緊急に必要な箇所が多数あり、市町から聞き取りを行いました。聞き取った箇所数は100を超え、2週間かけて現場を見て回りました。崩壊を伴うため本格的な工事が必要な箇所は、山地災害復旧事業を管轄する治山課へ引き継ぎ、残った約70カ所は3カ年かけて県民緑税事業で復旧することになりました。**これが終わらないことには転職はできないだろうなあ**と覚悟を決めました。

事業の実施にあたっては、公益社団法人兵庫みどり公社（現在の公益社団法人ひょうご農林機構）が特別態勢で臨んでくれました。各現場には複数の工事業者が入り、工程の調整など問題が山積みでしたが、様々な過去の災害復旧対応の経験を活かし、公社の皆さんとともに現場対応にあたりました。

市町役場の担当者さんには、平日・休日を問わず地元自治会などへの細やかな対応でご協力いただきました。

このミッションに携わった皆さまに感謝するとともに、みんなの思いが一つになるとすごい力になるんだな、と思った出来事でした。

◆今までどんな業務に携わってきましたか？

林務系に15年間、森林土木系に16年間携わっており、現場一筋の31年間でした。

林 務 系：林業労働・金融、森林計画、造林事業、木材利用、特用林産、森林病虫害防除、林業普及などを担当
森林土木系：治山事業、保安林・林地開発業務、市町営林道補助事業、県民緑税事業などを担当

鳥獣行政と県営林道事業を担当すると、林学職の仕事コンプリートです。

森林大学校の実習のひとつ。学生の安全確保のため、伐採手順や周囲の確認などに余念がありません。



◆育児休暇を取得した時のことを教えてください。

兵庫県林学職の初代育休取得者です(笑)平成4年に「育児休業等に関する法律」が施行され、その5年後の平成9年に育児休業を取得することになりました。林学職初ということもあり、当時の上司は代替職員を確保するのに相当ご苦労されたようですが、困った顔ひとつされず、「無事に産まれるといいなあ」と応援してくださいました。今でも鮮明に覚えています。

上司や先輩職員がサポートしてくださり、育児に専念できたことを感謝しています。

◆林学職の好きなところは？

物事を幅広く考えるところが好きです。時間や空間、社会環境など一つとして留まるものではなく、**変動するものに対応していく楽しさ**があります。



さらにインタビューを見たい人はURLから
兵庫県HPをチェック！

https://web.pref.hyogo.lg.jp/ji01/pc01_000000017.html



環境部 自然鳥獣共生課 被害対策班

入庁26年目 班長

●主な経歴

- 1999年度 但馬高原林道建設事務所 工務第2課 入庁
- 2006年度 農林水産部 森林動物共生室 保護管理係
- 2020年度 森林動物研究センター 業務部
- 2022年度 環境部 自然鳥獣共生課 被害対策班



◆今までどんな業務に携わってきましたか？

野生鳥獣関係の業務に12年間と最も長く従事しており、経歴の半分を占めています。その他は森林土木系が10年半、林務系が3年半です。

もともと、鳥獣関係の仕事に興味があり県職員になりましたが、鳥獣関係以外の業務にも携わることで、新たな仕事の視点や業務スキルの幅を広げることができていると感じています。

◆仕事での印象的なエピソードを教えてください！

保護と管理のバランスを探る 野生鳥獣との共存への挑戦

入庁8年目に念願の野生鳥獣関係の業務に就けた時のことです。

兵庫県では野生鳥獣による様々な被害を軽減しながら、人と野生鳥獣の調和の取れた共生社会の実現を目指しており、その実現に向けて、個体数管理、被害防除、生息地管理による野生鳥獣管理（ワイルドライフマネジメント）を推進しています。しかし、野生動物の生態や行動には不明な点が多く、森林動物研究センターとともに科学的知見に基づいた管理計画を作成した上で、モニタリング調査の結果を反映しながら管理を進めています。

管理計画作成にあたっては、研究者や行政関係者と科学的知見や法令の理念をいかに計画に反映させるか議論し、農林業団体、狩猟団体、保護団体、一般県民など様々な利害関係者と管理方針について意見交換しました。このような経験は、県行政マンとして施策に携わる奥深さを感じる機会であり、現在の業務にも活かされています。



野生動物による被害をみんな考えてもらえるよう、各種イベントで野生鳥獣対策について普及しています！



◆なぜ兵庫県を選びましたか？

就活にあたり、野生動物管理に関係した職業を希望していたのですが、兵庫県は太平洋側から日本海側まで多様な自然と、都市から地方まで多様な社会環境があり、野生動物の種類と生息数も多いことから、林学職の業務を通じて様々な形で野生動物管理に関わると考えて兵庫県に入庁しました。

◆これから入庁する人へメッセージをお願いします。

林学職の仕事はグローバルな視点とローカルな視点の両面を活かして、人と森林と野生動物の調和のとれた共存社会を作り上げることができる、大変やりがいのある仕事です。是非、チャレンジしてください。



林学職が携わる主な業務

林業振興

森林が持っている木材供給機能をはじめ、水源かん養、県土の保全など、森林の様々な機能を高度に発揮させることを目的として、「資源循環型林業」の推進に関する各種施策を実施

- **森林整備、林道・作業道等の路網整備への支援**
 - ・ 森林情報を管理するクラウドシステム等による森林経営計画等の作成支援
 - ・ 森林整備・路網整備に係る補助事業の実施及び指導・助言
- **林業労働者の安定的確保、森林組合の育成強化**
 - ・ 林業新規就労希望者へのPR活動及び資金援助の実施
 - ・ 雇用管理者の資質の向上を図るための研修会の開催
- **県産木材の安定供給及び需要拡大**
 - ・ 木材加工施設の設備導入への補助及び融資事業の実施
 - ・ 県産木造住宅の建築促進、公共施設の木造・木質化の支援



高性能林業機械で間伐木を造材

森林保全

山崩れや土石流、地すべり等の山地災害から県民の安全で安心な暮らしを守るため、森林機能を高める各種施策を実施

- **治山対策**
 - ・ 土砂災害を防ぐ治山ダム等の設置
 - ・ 防災知識の普及・啓発
- **「県民緑税」を活用した災害に強い森づくりの推進**
 - ・ 高齢人工林の針広混交林や広葉樹林へ誘導
 - ・ 里山林の防災機能を高める森林整備
- **多様な担い手による森づくり活動の推進**
 - ・ 森林ボランティアの育成
 - ・ 企業の森づくりの推進
- **保安林制度の運用、森林病虫害への対策**
 - ・ 森林法に基づく保安林・林地開発許可制度の運用
 - ・ 松くい虫被害等の防除



施工中の治山ダムの現場を確認

野生鳥獣被害対策

森林動物研究センターの研究成果を活かした計画づくりや研修会など全国に先駆けた取組みのもと、人と野生動物の共生をめざして各種施策を実施

- **野生鳥獣の保護管理（ワイルドライフ・マネジメント）の推進**
 - ・ 鳥獣保護管理に関する計画の作成
 - ・ 県、市町が連携して被害管理や個体数管理など各種施策を推進
- **野生鳥獣の被害対策などの実施**
 - ・ 狩猟者への捕獲報償金交付など、シカ、イノシシの捕獲推進
 - ・ 被害防止のための防護柵の整備支援や維持管理方法の普及
 - ・ 人と野生動物のすみ分けを図るバッファゾーン整備
- **ジビエ利活用の促進**
 - ・ シカ肉等処理加工施設の整備を支援
 - ・ ジビエの普及啓発
- **狩猟後継者の確保・育成**
 - ・ 狩猟免許試験、狩猟者向け研修会の実施



里山林における森林整備の実施



誤捕獲されたクマの調査

トピックス：兵庫県の特徴的な施策

(協)兵庫木材センターによる県産木材流通体制の強化

● 設立の背景と課題

兵庫県の木材流通体制は小規模・分散的・多段階的な構造であり、多品目を少量生産することで多様なニーズに対応してきた。しかし、高品質・低価格で大ロットでの安定的な供給という需要サイドのニーズには対応が難しく、そのようなニーズに対応が可能な外材に建築用材のシェアを奪われていた。

● 兵庫県の施策

林業事業者や製材事業者等が協同し、丸太の集積から製材加工まで一体となった大型加工施設「兵庫木材センター」を整備する取組を支援し、外材に対して県産木材が「品質・価格・供給力」で競争できる体制を構築した。

● 目指すべき姿

平成22年のセンター稼働により、県内の素材生産量は大きく増加した。中小の林業事業者や製材工場に対しても、今後さらに体制の強化を支援し、県内の林業・木材産業の活性化を進めていく。



協同組合 兵庫木材センターの全景

震災の経験を活かしたR・R併用工法の開発

● 開発の背景と課題

阪神淡路大震災の際、六甲山系において地震の揺れやその後の降雨が原因となり山腹斜面の崩壊が多数発生した。この災害をきっかけに、大規模地震発生時における山腹崩壊対策工法の開発を行った。

● R・R（ロープネット・ロックボルト）併用工法とは

ロックボルトを斜面直角方向に打ちこみ、その頭部を支圧板とロープネットによって連結することにより斜面安定を図るもので、降雨や地震時における斜面の変形を抑制する効果がある。また、設置する際に樹木の伐採が必要なく、施工がしやすいといった特徴がある。

● 目指すべき姿

今後も阪神淡路大震災をはじめとする大災害の経験をもとに、近年増加する地震や局地的な豪雨による山地災害の発生を予防するため、自然環境や景観に配慮したR・R併用工法による対策・普及を進めていく。



R・R併用工法を施工した山腹斜面

森林動物研究センターと連携した野生鳥獣管理

● 設立の背景と課題

森林動物研究センターの設立以前、兵庫県におけるシカ頭数は全国でも上位であり、深刻な農林業被害が発生していた。被害を軽減するには、シカ等の野生鳥獣の個体数の減少が必要である一方、減少しすぎると生態系のバランスが崩れる危険性もある。また、野生鳥獣管理に対し多様な価値観を有する県民や関係団体との合意形成も必要となる。

● 兵庫県の施策

科学的根拠に基づいて個体数・生息地・被害を状況に応じて管理する「ワイルドライフ・マネジメント」を実現する拠点として、全国に先駆け「森林動物研究センター」を平成19年に開設した。

● 目指すべき姿

センターでは、研究成果に基づく獣害対策を提案するとともに、ワイルドライフ・マネジメントを担う人材の育成や一般県民への普及啓発を実施することで、順応的な野生動物の保護管理を進めていく。



森林動物研究センター

若手林学職員の1日を紹介！

8:45 出勤・メール確認

まずは出勤。メールのチェックをします。

9:00 現場へ出発

自分が担当している治山工事の現場へ公用車で向かいます。

10:30 現場到着

私の所属する部署は事務所から現場まで公用車で片道約1時間半かかります。遠い。でも、ドライブの時間が結構好きだったりします。

10:30~11:30 監督員業務

現場で工事請負業者とコミュニケーションを取り、現場確認・指示等、監督員業務を行います。



12:00 昼食

現場に出る日はこれが一番楽しみです。美味しいものだらけで店選びはいつも悩みます。

14:00 事務所到着

ここから業務終了時刻まで、今日行った現場の状況等を整理したり、現場に行っている間に来たメールを返したりします。



17:30 退勤



神戸県民センター
六甲治山事務所 工務第2課
入庁4年目 副主任

◆なぜ兵庫県の林学職員になろうと思った？

趣味が登山ですので山に携わる仕事がいいなと思っていました。その中でも兵庫県の林学職を選んだのは、関西府県の説明会に出向き、兵庫県が一番おもしろそうと思ったからです。と、採用面接ではニコニコ顔で答えた記憶があります。が、本当の理由はちょっと違います。お知りになりたい方は直接聞きに来てください。そんな方いないでしょうが…。

◆休日はどうやって過ごしてる？

最近では、愛犬（ゴールデンレトリバー）・妻と一緒に掛ける、家でテレビ見てぐうたらする、大阪の実家に帰るパターンが多いです。趣味の登山にはなかなか行けていないです。行きたいですがそんな毎週行けないので。



◆これから入庁する人へメッセージ！

兵庫県に入庁すると地方公務員ですので、働き場所はほぼ兵庫県内になります。どの場所で働くかは結構重要なポイントじゃないかと思います。兵庫県内で働いても良いと思う方・兵庫県内でむしろ働きたい理由がある方、理由は様々で良いと思います、そういう方は兵庫県への入庁を選択肢に入れてもらえると嬉しいです。その中でも特に山・自然に興味のある方は、これほど性に合う職場はないかと思いますので、兵庫県林学職員になることを検討してもらえると嬉しいです。

◆繁忙期や残業はある？

ないです。と言いたのですが、こればかりはどうしてもあります。私も残業が好きじゃないので、仕事が上手な先輩の仕事のやり方を見習えば残業を減らせるかもと思い、日々頑張っているところです。



本庁と地方事務所、各配属先で仕事内容は異なります。

若手職員が配属先でどんな1日を過ごしているか、プライベートも含めてインタビューしました！

9:00 出勤・メール確認

本庁は様々な事務所の職員と関わることが多いので、メール確認が多いです。

10:00 電話対応

私の業務は事務所からの問い合わせや林野庁とのやりとりがメインです。初めは電話対応が苦手でしたが、様々な部署と電話のやりとりをするうちに苦手意識はなくなりました。



農林水産部 治山課
入庁6年目 副主任



◆なぜ兵庫県の林学職員になろうと思った？

幼い頃から家族でキャンプなどに行くことがあり、自然の中に行くことが好きでした。大学時代は趣味で自然の多い場所に遊びに行く機会が多かったこと、大学で専攻した森林関係の知識を活かしたいと思ったことから、住み慣れた兵庫県で自然に関わる仕事がしたいと思い、兵庫県の林学職を志望しました。

◆入庁後にギャップを感じたことは？

林学職の仕事を知る前は、公務員ってデスクワークの仕事ばかりでつまらなそう…というイメージを持っていたのですが、実際は山の中に入る機会や県民の方と直接話をする機会が多く、現場第一線の仕事ということが一番のギャップでした。執務室でも現場でも常に自然と関わっているなど感じられるところが私にとって林学職の仕事における一番の魅力です。

山地災害発生直後に現場に行くこともありました。



11:00 上司と相談

事務所からの問い合わせの対応について、本庁の回答が地方事務所全体の方針になることもあるので、上司に都度報告・相談します。上司への説明資料を作る機会も多いです。

12:00 昼食

いつもはお弁当ですが、本庁の周りは外食にも困りません。元町はカレーのお店がたくさんありおすすめですよ！



13:00 農林事務所と会議

事務所全体との協議や事務所個別で相談を受けることも多いです。対面・オンラインを使い分けて会議を行ったり、必要に応じて現場へ出向きます。

16:00 会議内容をとりまとめ

会議で決まったことを資料にまとめて課内で共有します。

17:45 退勤

◆休日はどうやって過ごしてる？

私は社会人になってから行動範囲が広がり、趣味も増えたなと感じています。特に体を動かすことが好きなので、休日は主にアウトドア趣味でリフレッシュしています。関西に住む友達と集まってサイクリングやスノボに行ったり、職場の同期と集まって遊んだり、年次休暇を取得して長期で旅行に行ったりしています。平日も土日も全力で楽しむことがモットーです！



◆繁忙期や残業はある？

普段は残業しないよう心がけています。しかし、雨の多い時期は災害対応があり、遅くまで残業することもあります。その時は使命感を持って頑張ります。



兵庫県林学職に関するQ&A

Q1

森林系以外の学部・学科からでも受験できますか？

大丈夫です！
学生時代の専攻が環境系や土木系など、森林関係ではなかった林学職員も多数在籍しています。仕事を始めてから覚える知識がほとんどですので、心配不要です。

Q2

どんな内容の研修が受けられますか？

公務員として必要な知識や法律を学ぶ研修から、林学職の業務に直接関係する技術的な研修まで、職位に応じてその都度受けることができます。

林学職の仕事はP5に掲載している業務がほとんどですが、その中で異動により仕事内容が変わることもあります。他部署への配属もあるので、仕事内容は多岐にわたります。

本庁では県全体の企画立案、計画の管理、予算の総括などを行います。地方機関では本庁で定めた方針を基に、実際の現場に立ち、適切に予算を執行するための業務を行います。

Q3

仕事内容は異動で変わりますか？

Q4

どこの大学の出身者が多いですか？

主な出身大学は、鳥取大学、京都府立大学、京都大学、島根大学、兵庫県立大学などです。

そのほか、愛媛大学、名古屋大学、新潟大学、北海道大学、東京農工大学など、各地から兵庫県に就職しています。

また、兵庫県立森林大学校の出身者や県内・県外高校の卒業生なども多数在籍しており、多様な経歴や出身地の職員がいます！

兵庫県ではコロナ禍を経て在宅勤務ができる環境が整っています。

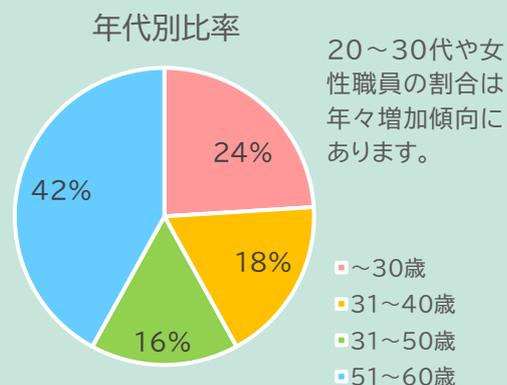
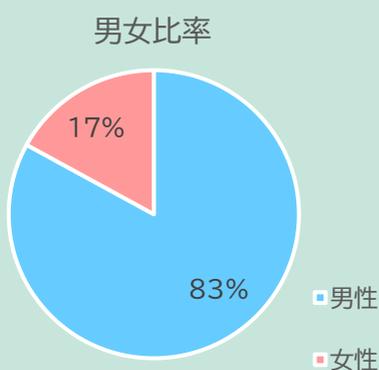
現在も各々の業務の予定に合わせ、毎週在宅勤務日を取り入れている職員はたくさんいます。

Q5

在宅勤務はできますか？

Q6

林学職員の年代や
男女比率は？



20～30代や女性職員の割合は年々増加傾向にあります。

- 20～30歳
- 31～40歳
- 31～50歳
- 51～60歳

兵庫県の林学職員の主な配属先は県内広域にわたるため、単身赴任をしている職員もいますが、自宅から電車や車等で通勤している職員がほとんどです。また、神戸・阪神間、JR山陽本線沿線等の臨海エリアに住む職員の割合が約7割を占めています。

Q7

職員の居住エリアは？
単身赴任もありますか？

Q8

居住に関する福利厚生
のことも知りたいです。

職員用の集合住宅(S37～H11築)が各地域にあり、低廉の家賃で入居することも可能です。
引っ越しが必要な場合は距離に応じた赴任旅費や、民間の賃貸に住む場合は家賃手当もあります。新規採用職員は配属先が決まり次第居住先を決める流れになります。

年次休暇取得日数…10.5日！（R5全庁のデータ）
業務内容や時期によりますが、年次休暇は取りやすいと感じている職員が多いです。各自の都合に合わせて、1時間単位で取得できます。1週間連続で取得し、長期で旅行に行く職員もいます！

Q9

年次休暇は取りやすい
ですか？

Q10

育児休業取得率は？

育児休業取得率は…
男性…61.4% 女性…100%（R5全庁のデータ）
3才までの子供を養育する多くの職員が育児休業を取得し、育児休業の取りやすい環境と感じている職員が多いです。

配属先の特色紹介

林学職の主な配属先は県内各地域に渡ります。兵庫県は県土面積が広く、各地域の文化や気候風土も様々です。ここでは、それぞれの配属先やその地域の特色を紹介します！

●主な配属先

本 庁	農林水産部	林務課	
	環境部	治山課 自然鳥獣共生課	
地方機関	神戸県民センター	① 神戸農林振興事務所 六甲治山事務所	
	阪神北県民局	② 阪神農林振興事務所	
	東播磨県民局	③ 加古川農林水産振興事務所	
	北播磨県民局	④ 加東農林振興事務所	
	中播磨県民センター	⑤ 姫路農林水産振興事務所	
	西播磨県民局	⑥ 光都農林振興事務所	
	但馬県民局	⑦ 豊岡農林水産振興事務所	
	丹波県民局	⑧ 朝来農林振興事務所	
	淡路県民局	⑨ 丹波農林振興事務所 ⑩ 洲本農林水産振興事務所	
	研究機関等		⑪ 森林林業技術センター
			⑫ 森林動物研究センター
			⑬ 県立森林大学校



神戸

森林率 40%
人工林率 8%

① 神戸農林振興事務所 六甲治山事務所



六甲山から見た治山ダムと神戸市

兵庫県一の人口を抱える神戸市は、都市部の南側は瀬戸内海、北側に六甲山があり、京阪神間のアクセスが良い。人工林は少ないが六甲山系に里山林が存在している。六甲治山事務所では六甲山における大規模な治山工事が多い。都市部に向けた県産木材の普及啓発も活発に実施している。

所管市町：神戸市（六甲治山事務所は阪神エリアも所管）

阪神北

森林率 50%
人工林率 9%

② 阪神農林振興事務所



川西市の里山林

阪神地区は都市部のイメージも強いが、管内には日本一の里山と言われる地区もあり、里山林が多い。菊炭などの里山林の活用も進んでいる。都市部と里山林が近いこともあり、鳥獣保護に関する問い合わせも多い。なお、配属される林学職員数は少ない。

所管市町：尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町

東播磨

森林率 16%
人工林率 8%

③ 加古川農林水産振興事務所



東播磨地域に多いため池

県内事務所で一番管内の森林面積が小さく、田園部が広がる地域。ため池が多いことでも有名。在来工法での木造住宅の建築が多く、木材利用が盛ん。配属される林学職員数は少ないため、様々な分野の事業を担当する。

所管市町：明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町

北播磨

森林率 54%
人工林率 30%

④ 加東農林振興事務所



三木市の三木山森林公園

田園部の農業や地場産業が盛んで、酒米の「山田錦」が全国一の主要産地。三木山森林公園をはじめとした森林のレクリエーション施設も多くある。特に管内の多可町は、里山林や人工林も多く、多自然地域でありながら住民主体の地域運営が活発である。

所管市町：西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町

中播磨

森林率 66%
人工林率 54%

5 姫路農林水産振興事務所



神河町砥峰高原のススキ

管内南部には姫路城や播磨灘など観光名所や都市部、工業地帯が広がり、里山林も多い。北部は人工林が多く林業も盛んである。南北に広い管内は積雪地域から温暖な瀬戸内気候の地域まで気候の違いも大きい。南部は県内各地域へのアクセスが良好で居住地に選ぶ林学職員も多い。
所管市町：姫路市、神河町、市川町、福崎町

西播磨

森林率 79%
人工林率 48%

6 光都農林振興事務所



宍粟市の山崎木材市場

管内は森林が多く、近畿最大級の原木取扱量を誇る木材市場や製材工場、バイオマス発電所などもあり、林業が最も盛んな地域。また、県南部の林道を管理する部署がある。県内の林業の代表地でもあり、配属される林学職員数は多い。
所管市町：相生市、赤穂市、たつの市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町

但馬(北部)

森林率 82%
人工林率 46%

7 豊岡農林水産振興事務所



但馬地域に多いシカ

日本海側に面する積雪地帯であり、城崎温泉などの温泉地も多い。神戸からのアクセスは車で約2時間程度。森林面積も大きく、野生鳥獣の生息密度が高いため、シカ等の林業獣害も多い。クマの出没も多く見られるなど、被害対策は大きな課題である。
所管市町：豊岡市、香美町、新温泉町

但馬(南部)

森林率 84%
人工林率 63%

8 朝来農林振興事務所



但馬地域の地すべり

内陸部の積雪地帯であり、冬季はスキー客も多い。但馬地域全体で地すべり地帯が多いため、朝来農林振興事務所が県内の地すべり防止区域を管理する。また、県北部の林道を管理する部署がある。木材市場もあり、林業は盛ん。西播磨管内と並び、配属される林学職員数は多い。
所管市町：養父市、朝来市(地すべり防止区域は但馬全域)

丹波

森林率 75%
人工林率 45%

9 丹波農林振興事務所



県産木材を利用した椅子

阪神間とのアクセスが良く、自然豊かな地域であることから、近年移住者が多い地域。栗や黒豆などの特産品も多い。木材市場もあり、林業は盛ん。小規模で持続可能な林業を行う事業者や、県産木材を利用したワーケーション施設を運営する企業など特色のある事業者が多い。
所管市町：丹波篠山市、丹波市

淡路

森林率 51%
人工林率 9%

10 洲本農林水産振興事務所



淡路島公園からの明石海峡大橋

明石海峡大橋で神戸市とつながる島であり、タマネギやハモなどの特産品が有名。近年観光地としても注目を浴びている。林業は盛んでないが、島内の木材利用や竹林整備に取り組む団体も増えている。また、イノシシなどの野生鳥獣も多く森林・農業被害が見られる。神戸からバスで通勤する職員も多い。
所管市町：洲本市、南あわじ市、淡路市

研究機関等

11 森林林業技術センター



センター研究棟

西播磨地域に位置し、林業、森林病虫害防除、森林の公益的機能の維持、県産木材の利用促進などに関する技術の開発・研究を実施している。

12 森林動物研究センター



センター正面玄関

丹波地域に位置し、野生動物の保全と管理(ワイルドライフ・マネジメント)のための調査研究や普及啓発を実施している。

13 県立森林大学校

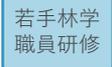
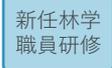


実習の風景

西播磨地域に位置し、次代の林業を担う人材等を幅広く育成するため、林業や木材に関する専門知識や技術等を学ぶ専修学校である。

※ 森林率：土地面積に占める森林面積の割合
人工林率：森林面積に占める人工林面積の割合

林学職のキャリアパス

勤続年数の目安 ※大卒の場合	主な職位		必要なスキル		研修			
	本庁	地方	専門	基礎				
12年～	班長・主幹	課長	 様々な行政経験を重ねながらスキルの高度化を図る	リーダーシップ 人材育成 課題解決力	 農林水産関係研修 (リーダー・中堅・若手)	 林野庁・国研究機関等派遣研修		
	(5級)			リーダーシップ 後輩指導 政策形成力				
9～11年	主査	課長補佐・主査		補助事業等施策の立案施行	調整力 交渉力 業務改善	 若手林学職員研修  新任林学職員研修		
	(4級)			林業普及指導 森林土木技術	チームワーク 正確性、迅速性 基礎的業務処理			
5～8年	主任		林業普及指導 森林土木技術					
	(3級)							
1～4年	副主任		関連法令・制度の知識					
	(2級)							
	主事							
	(1級)							

異動・配属の考え方

行政

能力、適性を踏まえて行政分野で幅広く活躍

本庁



地方

研究

研究分野のスペシャリストとして活躍

研究員育成プログラムに基づき養成



キャリアチェンジも可能

ジョブローテーション

様々な部署、業務内容を経験し実務能力を養成

●最初の配属先が

本庁の場合 → 2年で異動

地方機関の場合 → 3年で異動

●以後3～4年程度の異動サイクル

勤務条件

■ 初任給（神戸市内勤務）【令和6年度】

大卒程度 221,425円（新卒者）

高卒程度 186,964円

※ 給与改定により変わる場合があります。

■ 期末・勤勉手当（ボーナス）

基本給等の1ヶ月をベースに、年間4.5ヶ月分（令和5年度実績）が支給されます。

■ 勤務時間・有給休暇

勤務は月曜から金曜までの完全週休2日制、1日の勤務時間は7時間45分で、E勤（8:15～17:00）、A勤（8:45～17:30）、B勤（9:00～17:45）、L勤（9:30～18:15）の4区分あります。年次有給休暇は、1年間に20日（4月新規採用者は15日）あり、一定の日数を繰り越すことができます。そのほか、特別休暇（夏季、結婚、出産、忌引など）があります。

■ 昇任制度

昇任は、勤務成績、経歴などの総合評価により決定されます。また、毎年1回希望する職務分野やポスト申告する機会を設けており、積極的に意欲のある職員の登用を図っています。

林学職の採用状況

	大卒程度		経験者		高卒程度	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5
受験者(人)	9	36	6	5	3	1
合格者(人)	5	10	2	1	2	1
競争倍率(倍)	1.8	3.6	3.0	5.0	1.5	1.0

お問い合わせ

〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
農林水産部（第1号館）

【林務課】 TEL：078-362-9222 FAX：078-362-3954

メール：rinmuka@pref.hyogo.lg.jp

【治山課】 TEL：078-362-4287 FAX：078-362-3952

メール：chisanka@pref.hyogo.lg.jp

兵庫県ホームページ「職員採用情報」でも
試験日程・過去問題等を掲載しています。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/pref/cate2_616.html

